

会員と千葉県連盟をつなぐ

# ちばニュース

2014年12月号



なんじゃもんじゃの木 撮影者 中原 紀代治氏



## 千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpin Federation

---

2014年12月1日発行 通巻260(毎月1回発行)

**年末・年始は、**

**絶対に、事故を起こさないで!!**

## 12月号 目次

|                        |                |
|------------------------|----------------|
| ・ 12月号目次               | 2              |
| ・ 11月理事会報告             | 吉田 理事長 3       |
| ・ 県連50周年記念事業第3回実行委員会報告 | 広木 会長 4        |
| ・ 花博士の花便り              | 中原 紀代治 5       |
| ・ 県連創立40周年記念の思い出       | 高見 信明 6        |
| ・ ハイキング委員会報告           | 桑原 年一 8        |
| ・ 第30回房総ロングハイクの案内      | ハイキング委員会 9     |
| ・ 松戸地区交流山行報告           | 佐藤 安行 10       |
| ・ ふれあいハイク感想            | 松川 正則・藤代 幸子 11 |
| ・ ふれあいハイク感想            | 飯島 美樹 12       |
| ・ 「ゆう便り」NO—10          | 長池 康雄 13       |
| ・ 県連便り                 | 15             |
| ・ 12月・1月予定表            | 16             |

### 表紙説明

「花博士の花便り」は、ふわくハイキングサークルの中原紀代治さんが、2011年10月号より投稿して下さいました。

「ちばニュース」を担当する事になり、原稿が集まらない現状を見ていた、中原さんがお手伝いをしましょうと言って下さいました。

3年2月に亘り、その豊富な資料を公開して珍しい花・樹木を解説していただきました。

今回、「ネタ切れです、少し休ませてください」との事。ネタ切れはないと思いますが、3年2月は大変だったと思います。

しっかり充電して、再登場してくれる事を待っています。

ご苦労様でした。

表紙写真は、「なんじゃもんだ」の木です。

一番ビックリした名前です。

## 2014年度第8回理事会報告

■開催日時:11月20日(木)19:00～

■開催場所:船橋市西部公民館

■出席:ちば山、茂原、船山、松戸、東葛、ふわく、あびこ、市川、シリウス、岳樺、こまくさ、自然保護、教遭、会長、理事長、副理事長、会計(山翠会理事兼任)、救助隊、ふれあい担当 以上19名

■配布資料

・15回ふれあいハイク報告

・50周年第3回実行委員会報告

■議題

1. 委員会・救助隊報告

＊教育遭難対策委員会(岡田賢一)

・事故一報無し

・事故防止経験交流集会22日参加申込み締め切り。宿泊の方は防寒対策を

＊ハイキング委員会(中原)

・ロングハイク 2015/1/24,25 実施予定、参加申込み締切り 12/25、中原 or 桑原まで

・2015年ウィクデー山行はバスの運行問題有り、山は特定できず

＊自然保護委員会(菅井)

・来年実施予定の自然保護シンポジウムは、規模・日程等を見直す→県連50周年に相応しい内容にするため

・11/15,16、関東ブロック集会を神奈川主管で実施、1名参加

＊女性委員会(広木)

・ワンコイン、14年は日程の都合で実施できず 15年開催予定

＊救助隊(吉田重)

・11月の定期訓練は天候不順により15/2/11へ延期

・11月交流集会用資料は新人向けに作り直し

・各会における講習会の講師要請、救助隊で受入れる用意有り。地図読み・ロープワーク等

2. ふれあいハイク関連(岡田正勝)

・10/25 滞りなく実施できた。障害者側29名、県連側10団体・91名、合計120名の参加

・ちばニュース 11月号に報告済み、参加者感想は次号に掲載予定

3. 災害支援報告(吉田哲)

・バスツアーは11/15,16実施、満席の30名参加、概ね好評だった

・12月の支援は南相馬の予定

4. 50周年実行委員会報告(広木)

・事業全体の概要が絞られてきた、さらに内容を詰めていきたい

5. その他

・全国連盟のハイキングスタンダード委員会が発足スタートした。千葉よりは大越(松戸)が参加

■今後の理事会日程について

・12月18日(木) 場所:西部公民館

時間:19時より

## 第3回実行委員会報告

千葉県連盟創立50周年記念事業・第3回実行委員会を実施しました。

以下の報告をします。

事業全体の概要も絞られてきました。各会・クラブの参加・協力をお願いします。

## 1 各行事の行程について

## (1) 記念イベントは、2016年10月を予定

全会参加で、清和県民の森（予定）で交流会を実施する。

全ての記念事業は、記念イベントまで完了する。

## (2) 記念山行は、2015年中に完了を基本とするが、

海外ハイキングは、ベストシーズン等を考慮して2016年前半の実施も視野に入れて検討を進める。

① 海外ハイキング：バリ島のサンライズ・トレッキングは魅力であり、実施希望もある。（バトゥール山：1,717m・アグン山：3,031m）

② 国内ハイキング：千葉県トップ50（50周年にこだわって）

## (3) 千葉県連らしい行事、特徴的な取り組みをまとめて資料として残す。

① 房総ロングハイク・ウィークデイ山行・ふれあいハイク・房総郡界尾根をまとめる。

② 各会・クラブに、関連資料の提供をお願いする。

## (4) 千葉県連の自然保護の、取り組みの紹介とまとめを行う。（2015年中に完了する）

## ① 自然保護セミナーの実施

前回までの実施方針を見直し、参加人数を大幅にアップして取り組む事を確認した。

② 県連の自然保護の歴史を、より多くの会員に伝える。（収容人数の大きい会場確保）

③ 現地見学を実施する。（追原ダム予定地・鬼泪山の水源地 他）

④ セミナー講師は、鶴沢喜久雄 ふわくHC会長（元県連自然保護委員長）に依頼。

⑤ 他の自然保護団体とも協議していく。

## (5) 房総の山・沢の紹介

① 記念誌に掲載するか、別冊でガイドブック的にまとめるか検討を進める。

③ 各会で持っている資料の提供していただき、2015年中にまとめる。

④ 房総のよく知られたコースか、マイナーではあるが千葉県連の薦め場所・コース等の検討に地元の会・クラブの参加・協力をお願いする。

## (6) 記念誌「50年のあゆみ」（仮称）について

① 発行部数：全会員に配布出来る部数。

② 内容とページ数：後世に伝えたい内容を最小限にまとめる。

③ 予算：県連財政から捻出する。（以外にない）

④ 2016年9月までに完了する。

## 2、次回（第4回）実行委員会

・1月22日（木）19時 西部公民館

・各会。クラブ代表者・県連盟理事の参加をお願いします。

## 花博士の花便り 2014年12月

ふわくハイキングサークル 中原 紀代治

### 初冬の花

ふれあいハイクでは、ツワブキの黄色い花、小さい白い花で葉がカメの甲羅に似たキッコウハグマ、穂状に咲くサラシナショウマ、アザミなどが咲いていました。

アザミは、春から夏に里で咲くのがアザミで、千葉では秋に咲くタイアザミ（トネアザミ）、良く似た、カズサヤマアザミが10月から咲いています。

11月中旬、サザンカからカンツバキの花が咲きだし、近所の庭先に**皇帝ダリヤ**の大きな花が4mも伸びて咲いています。皇帝ダリヤはメキシコから中米の原産と言われています、竹みたいな節を残して切ってミズゴケなどで保護し冬を越すと新芽がでて増やすことができます。又単日植物で街灯のある近くに植えると花が咲きにくいそうです。我が家では、黄色いイソキクが咲いています。

### 今月の巨木 日月神社のホルトノキ（いすみ市）

ホルトノキは、千葉県以西に分布する常緑高木です。いすみ市の日月神社のホルトノキは根元から二株に分かれる双幹です。幹周りは、3.5mと3mあり樹高は23mあり、樹齢は二〇〇年以上と推定されています。凄いのは、板根が波打ちながら板状に肥大し発達している姿は、壮観です。他に有名ホルトノキは、里見八犬伝ゆかりの宮本城祉の近くに双幹の立派な木を見たことが有ります。

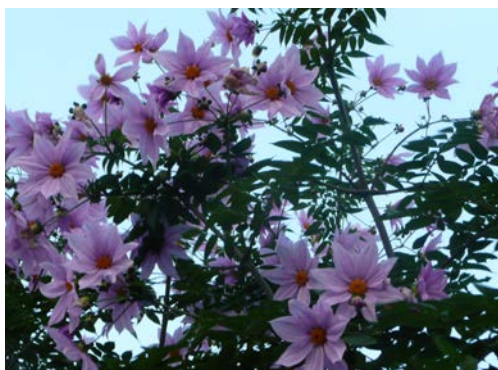
＊＊花博士の花日より3年以上書きましたが、そろそろネタ切れです。少し休ませてください。



サラシナショウマ



カズサヤマアザミ



皇帝ダリヤ



ホルトノキ

## 創立 40 周年記念の思い出

ハイキング委員 東葛山の会 高見信明

私は、千葉県連とは、もうかなり永い付き合いとなりました。

8 年前には、創立 40 周年記念の実行委員長に任命されてしまいました。行事の最終エンドまでは 1 年ありませんでした。

実行委員会は 5 会から、かがりび山の会の川上さん、成田ラテルネ山の会の市場さん、千葉民医連山を歩こう会の戸石さん、深山会の前山さんと林さん、東葛山の会の佐藤さん、事務局の松戸山の会の渡辺さん、等々の協力があり、まったくあわただしくも取り組みました。

1. 海外登山 韓国の雪嶽山 (1708m)
2. 創立 40 周年記念誌の発行
3. 記念レセプションを清和県民の森にて実施

2006 年度の千葉県連定期総会に、3 本の方針を提案、加盟各会及び出席者に協力を呼びかけました。

1. 韓国・雪嶽山登山は、2006 年 10 月 2 日～6 日、4 泊 5 日（内 1 日山小屋泊）10 の山の会から 29 名が参加。3 班編成で天気にも恵まれ、紅葉シーズンで賑わう中を行く。日本の山小屋と同様、すし詰状態の小屋泊り。途中のスーパーで購入した食材で、各班とも鍋物、ビール、マッコリで盛りあがりました。

翌日も晴天。全員で雪嶽山の頂上に立ち、記念写真を撮り、無事に下山しました。

韓国の食文化にも触れ、世界遺産やソウルの市内観光等、たっぷり楽しんだ。帰路のフライトが、強風で成田に降りられず、羽田に帰着。ハプニングも楽しい思い出になりました。

2. 記念誌の発行

19 の加盟会からは、会の紹介と「地元ちば」を歩く資料を寄稿していただきました。30 周年から 40 周年までの記録『ふみあと』を石川前理事長に 5 お願いしました。コピー用紙の購入、印刷、製本全てを実行委員と応援してくれた会員によって、77 頁の記念誌 850 部が完成、記念レセプション会場で手渡されました。



### 3. 創立 40 周年レセプション

2006 年 11 月 18 日(土)～19 日(日)清和県民の森オートキャンプ場に、18 会、108 名が参加。加藤理事長と仲間による、木管四重奏には、会場に入りきれないほどの人が集まり、演奏を楽しみました。

夜にはキャンプ場に、各会のテントがたくさん設置され、各テント前には早くも酒盛りが始められました。

中央の会場で創立 40 周年記念式典が行われ、来賓等々の挨拶、功労者の記念品贈呈など、キャンプファイヤーを囲んで、合唱、談笑が夜おそくまで続きました。

参加者が楽しく、喜んでいただけた集であったと思う。



高見さん ありがとうございます。

40周年記念行事・実行委員長の報告を読んで、準備時間も無く大変な取り組みだったと思います。高見さんには、「千葉県連盟創立50周年記念事業」の実行委員として、30周年の経験を活かして指導していただいています。大変、心強く感じています。

千葉県連を支えてきた、ベテラン会員の皆さんの力をお借りして、50周年記念事業を成功させたいと思っています。

各会・クラブの全会員の参加・協力をお願いします。

—— 実行委員長 広木 国昭 ——

2014 年度 第 5 回ハイキング委員会

2014 年 11 月 11 日（火）

出席者 桑原、佐川、八巻、大田、小山、花井、高橋、高見、吉澤、中原 10 名

議題

1) ロングハイキング

2015 年 1 月 24 日（土）25 日（日）一泊二日 七里川温泉 泊  
25 日 コース昨年と同一（東大演習林の歩道状態で多少変更有）決定  
七里川温泉—石尊山—麻綿原—一杯水林道分岐—大平歩道—烏帽子山—硯石—樟林道—本沢林道—坂本駐車場 歩程約 8 時間 30 分（休憩含む）  
25,000/1 地図 麻綿原迄 「上総中野」 後半坂本迄 「安房小湊」 使用

東葛地区の前日 24 日の山行 バス利用

大崩：津森山・人骨山（水仙ロード） 決定

大崩会館広場—三叉路—農家の庭—登山口—山頂—登山口—人骨山入口—登山口—山頂—人骨山入口—三叉路—大崩会館広場 歩程約 3 時間 30 分（休憩含む）  
25,000/1 地図 「金束こづか」 使用

2) ウィークデー山行 バス一日 13 時間以内で花（時期）と場所を決めてから月日を決める。次回までに持ち寄る事。

3) ちばニュース掲載引き続き行いう事にする。 タイトル（山への想い）雑感

12 月高見、1 月佐川、2 月中原、3 月花井、4 月高橋、5 月加藤、6 月桑原 7 月小山、

※ 前月の 20 日までに「ちばニュース」当分の間、会長広木様メールまでお願いします。

「第 19 回全国ハイキング交流集会」IN 岐阜 長良川スポーツプラザ・終了

2014 年 9 月 27 日（土）28 日（日） 全国 111 名参加、有意義だった。

※ ふれあいハイキング 2014 年 10 月 26 日（日）120 名、参加の方ご苦労様。

※ NPO 東北支援 バスツアー 11 月 15 日（土）、16 日（日）参加費 20,000 円  
募集定員 30 名 定員オーバー 締切りです。

※ 事故防止・経験交流集会 11 月 29 日（土）30 日（日）参加しましょう。

次回委員会 2015 年 01 月 13 日（火） 19:00～ 県連事務所



## 第 31 回 房総ロングハイキング募集

主催 千葉県勤労者山岳連盟ハイキング委員会

日 時 2015 年 1 月 24(土)～01 月 25(日) 一泊二日 (当日参加可)

集 合 七里川温泉：沖津屋 24 (土) なるべく 15 時 30 分迄集合  
25 (日) 当日参加 6 時 00 分集合

君津市黄和田畑 921-1 電話 0439-39-3211 フリーダイヤル 0120-397428

25 日コース 七里川温泉脇～石尊山～麻綿原～一杯水林道分岐～W0 (ツクバネ樫目印) 入口～  
(東大演習林) 大平歩道入口地点～W15：烏帽子山々頂～W33：硯石分岐～樟林道  
入口～本沢林道～坂本駐車場ゴール 歩程約 8 時間 30 分 (休憩 1 時間 30 分含む)  
25,000/1 地図 「上総中野」「安房小湊」

募集人員 60 名位

費 用 6,000 円 (一泊二食と弁当、移動) 当日参加 1,000 円 (弁当、移動、)

締 切 12 月 25 (木) 各会責任者へ申し込む

直接電車で参加の方 (千葉発 12：39)

電車時刻 (往) JR 久留里線 木更津発 13：39 上総亀山着 14：42  
々 15：36 々 16：40

上記着の時刻に合わせて送迎車が出ます。

自家用車：直接七里川温泉に来て下さい。スペース 5 台位 (出来れば JR でお願いします)

### 行動予定

01 月 24 (土) 15：30～ 受付開始  
17：30～ 挨拶、ガイダンス (日程、コース説明)  
18：30～ 夕食、交流会後就眠  
01 月 25 (日) 5：00 起床、掃除、支度  
5：30 朝食 (弁当を受け取る) (食事は自由)  
6：00 ロングハイク出発 (当日参加者は時間厳守)  
14：30 坂本駐車場着 (JR、車の方はバスで送迎)

電車時刻 (復) 安房天津駅 14：54 発：15：58 発 (千葉方面行き)

安房天津駅 17：03 千葉駅 着 18：46

尚、東葛地区 (東葛、松戸、柏、我孫子) はバス利用して、前日軽登山してから  
集合地 (七里川温泉) に行く事にしました。10,000 円 (バス代、1 泊 2 食 弁当、)

行先 大崩～津森山～人骨山

二日目 合同山行

申し込み問合せ連絡先 ふわくハイキングサークル 実行委員長 中原 紀代治  
(TEL/FAX 0475-34-4757)

## 松戸地区第4回・交流山行感想記

交流山行も4回目となり、会からのひとり参加にもかかわらず、私はすでに遠慮することもなく、皆さんの優しさにすっかり甘えて、楽しい、嬉しい一日でした！  
半年ぶりの再会ですのに、なんだかもう、私には自然体になっていました。不思議です…  
山の知識もない私に生意気な事を言わせてもらえるならば、やはり“ただ山に登りたい！”という同じ思い”の仲間だからでしょうか？  
今回も眺望、紅葉も素晴らしい山でしたが、私はそれらが無かったとしても最高の気分でした。ありがとうございます。お疲れ様でした。  
そして、これからもよろしくお願いします！

まつど山翠会 南 礼子

今回の山行は、シリウス山の会が幹事役として計画され、2013年6月に第一回の日光・高山（幹事、松戸山の会）から数えて第4回目に当たる。  
毎回、担当幹事会がそれぞれ趣向をこらした山行を計画して頂き、毎回楽しみにしている。  
今回は、甲州高尾山と言う事で、低山であったが甲府盆地が眼下に見通せ、眺望を楽しむことができた。紅葉の見ごろを過ぎていたのが残念だったが。  
いつもの事だが、帰路の電車の中で飲むビールがたまらない。  
更に、松戸～柏駅周辺で反省会をするのだが、時間が経つのが忘れるほど盛り上がっている。これには、不思議なことに毎回全員が参加しており、交流山行が 充実している証拠かも知れない。  
今後、松戸近郊の山岳会が交流山行を通じて、人的交流と親睦を深化し、その結果、お互いの長所、短所を補完できるよう、願っておる。

（松戸山の会 大越直樹）

春と秋、年2回の山行を目標に立ち上げ早2年が経った。  
今回はシリウスが担当、8月に「甲州高尾山」を候補地と決め下見を行い9月に参加される各会に山行概要を連絡した。あとは11月当日の天候次第、ところが台風20号が発生し計画が危ぶまれる。参加者は公募山行のように初めての山歩きではない。小雨ぐらいなら予定どおり実施でもいいのか、と迷う。結局実施か否かは前日に判断することにした。結果は台風の進路が南下、思いもよらぬ南アルプスの展望が得られるほどの好天に恵まれ二次会まで楽しい時間を過ごせた。  
同じ目的を持つ山仲間、今後交流山行がどのように発展していくか大いに興味があります。

シリウス山の会 佐藤安行



### 第13回ふれあいハイク感想

マテバシイのトンネルを抜けて

(視覚障害) 松川 正則

10月26日、ふれあいハイキングで、館山野鳥の森に行ってきました。

天気予報では、館山地方はときどき雨とのことでした。けれどもバスに乗っているときに雨が降る程度で、むしろハイキングには最適の感じでした。

野鳥の森の広場の桜の木は、先日の台風の影響ですっかり葉を落としていました。

「わたしのパートナーが、「すだじい」のどんぐりを拾ってくれたので食べてみました。ほのかに甘い素朴な味です。

館山野鳥の森近くの「安房神社」のところから「富士見展望台」に向かいます。森に入ると、「ヤマユリ」がつぼみを付けていました。富士見展望台からは平砂浦が見えます。雲がかかっていたので、残念ながら富士山は見えませんでした。

「マテバシイ」のトンネルをくぐって天神山山頂に向かいます。

一番高い所の天神山で146mですが、起伏があり、けっこうきつい感じでした。コースを戻って、滑り止めのあらなわを装着し少し急坂の坂を下りました。

12時を過ぎたころ、ピクニック広場で昼食です。わたしたちが昼食を始めると、「とんび」が上空を旋回していました。食後に参加者と歌を楽しんだ後、「西沢池」という小さな池の「ラクウショウ」や「メタセコイア」など、背の高い木に覆われた水辺の森を散策しました。とても静かでした。ときどき「もず」の声も聞えます。

その後、マテバシイの林の中をぬって下山しました。

野鳥の森のハイキングでしたが、鳥よりも樹木や植物のことをたくさん知ることができました。

山の会のみなさんは、植物や自然環境のことにも詳しくて、いろいろなことを教えてくれます。次回も楽しみです。

また二年後に会いましょう。

膝が痛くても頑張って登りました

(肢体：自力歩行) 藤代 幸子

10月26日に野鳥がいなかった野鳥の森に行ってきました。私は、いま膝の軟骨が減っているため、膝が痛いので目的地までいけるかどうか心配でしたが、ボランティアの方々が支えてくださったので、目的地まで行くことができました。

でも、坂が意外ときつくて坂を登るときは膝は痛くないのですが、下り坂のときは膝が痛くて大変でした。それで、下り坂のときは足が止まらず前を歩いている人とぶつかりそうになってしまってちょっと怖かったです。しかたがないときは前の人を追い抜かせていただきました。だからいつもより早く目的地に着いたような感じでした。私は歩くのが、とても遅いので人を追い抜いて歩くことは、普段の生活ではないのでちょっと気持ちが良かったです。

こういうことができるのもボランティアの方のおかげです。ありがとうございました。展望台から海辺の景色はとても素晴らしく「登ってきて、良かった」と思いました。

## 第13回ふれあいハイク感想

気持ちよい景色 急な上り下り

(車いす) 飯島 美樹

いつも集合時間が朝早いので、なかなか参加ができませんでしたが、今回はいつもよりもゆっくりの集合だったので、参加ができました。

いつもの山登りと違って簡単に考えていましたが、距離的には短く思いましたが、アップダウンがほとんどでそれも急な上り下りばかりだったので、私にはいつもの山登り（過去2回しか参加していませんが・・・）よりも大変に感じました。

車いすに乗っている私が大変に感じたのだから、周りで車いすを押したり引いたりしてくださった山の会の方たちは、ものすごく大変だったのではないかと思います。階段のところの展望台では、車いすなので最初から登って上がろうという気も全くなかったのですが、山の会の方々が「せっかく来たのだからおぶりますから…」と何度も言ってくださったので、両側を抱えてもらって上がりました。そこから見えた景色は他とは違って気持ち良く感じました。

車いすだと、どうしても迷惑をかけてしまうことが先に立ってしまって、人の手を借りることに遠慮しがちな私に、「せっかく来たのだから…」と何度も言ってくださったことが、とてもうれしくて心を動かされました。

「ありがとうございました」

お天気にも味方をしてもらい、とても楽しい1日でした。

~~~~~

### 編集員からのお願い

ちばニュースに連載してきた「花博士の花便り」が今月号で終わります  
2015年1月号からは「会・クラブ」紹介を掲載したいと思います。以前に実施していた経緯もありますが、久しぶりに加盟会の現状を紹介していただきたいと思います。

- 1、 会創立について ・創立年度 ・当時の会員数 ・エピソード 等。
- 2、 会の特徴・アピールポイントの紹介。
- 3、 最近の山行の紹介。
- 4、 会運営で、特に力を入れている事。
- 5、 山行の写真（表紙用に1枚・スナップ1枚位）
- 6、 その他、何でもOKです。
- 7、 書式等：ワードで写真添付 余白：上下左右20m～25m

字体：MS明朝・12p

◆ 当番月（前半6月まで）よろしくお願いします。

- |    |          |    |          |    |         |
|----|----------|----|----------|----|---------|
| 1月 | ちば山の会    | 2月 | 君津ケルン山の会 | 3月 | 茂原道標山の会 |
| 4月 | 船橋勤労者山の会 | 5月 | 松戸山の会    | 6月 | 東葛山の会   |

◆ 送り先 Eメール：[danphiro@zpost.purara.or.jp](mailto:danphiro@zpost.purara.or.jp)

NPO法人「ちば労山ゆう」 長池 康雄

「NPO法人ちば労山ゆう」の正会員・賛助会員のみなさん。

高い山には白い冠が目立つようになって、いよいよ冬將軍の到来です。

今月はいつもの石巻支援に加え、2回目の「東北支援バスツアー」を併行実施しました。

今回は、現地にお住まいの3名の方々に“語りべ”をお願いし、生の被災体験をお話いただきました。

では、早速・・・

1、日時 2014.11.15（土）～16（日）曇りのち晴れ

2、参加 支援作業 12 名、バスツアー33 名

3、活動場所

- ・支援作業 牡鹿半島谷川浜ホヤ養殖準備作業、
- ・バスツアー 石巻市門脇地区本間家土蔵、谷川浜支援作業体験、洞福寺、民宿「めぐろ」交流会、女川町・大川小学校・神割崎南三陸町防災対策庁舎・「さんさん商店街」

4、宿泊場所 民宿「めぐろ」および「あたご荘」

5、活動報告

15日（土）

- ・支援作業 冷え込み、作業場を強い風が吹き通ってバスツアー一行が少しの時間作業体験しただけで震えましたから、朝から作業を続けた先発隊は大変だったろうと思います。お疲れさまでした。

- ・バスツアー 東北道に乗ったところで渋滞があり少し遅れましたが、本間家土蔵では、ご主人に津波襲来時の生々しいお話を伺いました。

質問も次々と出て次第に熱を帯び、予定時間を越えて土蔵の中を十分にお見せできなかったのは残念でした。

谷川浜での支援作業体験では初体験の方々も多く興味がつきなかったようで、牡蠣殻吊り作業から離れがたい方もいて“

“次へ行きますよ～”とつい大声を出してしまいました。

谷川浜洞福寺では石田住職が待っていてくれて津波や寺の由緒を穏やかな声で説明していただきました。

何と言っても、先に植えこんだ水仙が15cmほども青い茎を伸ばしているのは感動でした。植えこむ

ときは石田住職も一緒に作業したのです。さて、「民宿めぐろ」では主人目黒氏が、津波体験や近傍の復興動向

など身ぶり手ぶり、闊達な声音で体験を披露してくれます。事前の打ち合わせでは10分もあればと言っていたのに、気合の入ったお話でした。その熱気が木の香も新しい宿の復興に寄与したのだらうと感じ入ります。柳家笑多師匠！の独演もあり和気あいあいのうちに夜は更けていきました。



本間家土蔵前で



作業体験中



16日（日）

・支援作業 午前いっぱい作業を続けて帰途につきました。帰路に常盤道を選びましたが大渋滞にはまって大変だったようです。

・バスツアー 牡鹿半島背稜コバルトラインを通して女川町に向かいます。天気が良く展望台から金華山や小島群が良く見えて“綺麗！”の声が響いていました。

女川町では海拔18mの町立病院にまで津波が押し寄せたとの説明に

一様に驚いた様子でした。眼下の江島共済会館は倒壊したまま残って

いますので津波の威力が明瞭ですが、間もなく撤去されることになっています。地域の方々にとっては被災の記憶が生々しく呼び起されて耐えがたい想いが拭えないのだろうと推察します。

大川小学校は、一時の喧噪が嘘のように静かな雰囲気になっています。

激しく損壊し、ひしゃげた鉄筋類が、変わらず津波の威力を明示しているけれども焼香台にお線香を手向けに訪れる人影も次第に落ちつ

いて、まことの哀惜の気持ちがこみあげてきます。

南三陸町へ向かうのですが、小休止に行程の中ほどにある「神割崎」へ寄っていきます。

村境をめぐる紛争に神様が海辺の断崖を断ち割って争いを収めたという伝説の磯で、黒々とした断崖と、透明な海水が清涼な風を吹き寄せて好評でした。

南三陸町は広漠とした市街の復興工事が進行中で工事用大型車の往来が盛んななか防災対策庁舎は広い荒原のなかにポツンと立っています。

論議の末、この遺構も撤去予定と聞いていますが最後まで避難誘導の

マイクを離さなかった女性職員の悲痛な声はまだ残っているような気がします。

「さんさん商店街」は今日も多くのお客さまで賑わっていました。

ここでの昼食は散開してそれぞれ好きな店でとっていただきました。

私は、前回無理を言って海鮮弁当を作っていたき好評を博したお店にお礼がてら行きました。

さて、谷川浜洞福寺では、いま再建工事が進んでいます。千葉から運

んだ水仙が無事に葉を延ばしていますので、お寺の落慶法要のときに

水仙が鮮やかな花を咲かせていたらと思うとワクワクしませんか！

では、また！



今回は、バスツアー参加者に作業体験をお願いしました。寒い中、ご苦労様でした。

バスツアー一行と支援作業者一同



# 県連たより

## 県連盟連絡先

- ◎ 千葉県勤労者山岳連盟事務所  
〒262-0033  
千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18  
レジデンス幕張台 101 号室  
TEL・FAX: 043-306-1190  
Eメール: [rousanchiba@grape.plala.or.jp](mailto:rousanchiba@grape.plala.or.jp)  
JR総武線幕張本郷下車、海側 徒歩5分  
(県連事務所に常駐者はいません)
  
- ◎ 千葉県連ホームページ  
<http://www.cwaf.jp>  
県連盟への問い合わせは、上記ホームページ  
事務局への問い合わせまで
- ◎ 事故一報送付先  
教遭委員長・岡田 賢一  
[ken-ichi@f4.dion.ne.jp](mailto:ken-ichi@f4.dion.ne.jp)  
Fax: 043-271-4704  
事故一報は、全国連盟事務局にも必ず  
送付の事。
- ◎ 「ちばニュース」原稿送付先  
機関紙委員会・広木 国昭  
[danphiro@zpost.plala.or.jp](mailto:danphiro@zpost.plala.or.jp)
- ◎ 連盟費振込み先  
郵便振替口座 00160-3-481509  
千葉県勤労者山岳連盟
- ◎ 東日本大震災・支援金振込み先  
口座番号: ゆうちょ銀行  
00240-8-98419  
加入者名: NPO法人 ちば労山ゆう  
代表者 吉田 哲治
- ◎ その他、県連盟、全国連盟への、  
ご意見・問い合わせなどは・広木まで

## NPO法人「ちば労山ゆう」

- ◎ 「ちば労山ゆう」への入会は  
千葉県連盟ホームページから  
入会出来ます。
  - ・入会申し込みは  
<http://www.cwaf.jp/contact/10-2/>
  - ・「ちば労山ゆう」への問合せは  
<http://www.cwaf.jp/contact/09-3/>
  
- ・入会情報(11月末)

|       |      |
|-------|------|
| 正会員数  | 96名  |
| 賛助会員数 | 114名 |
| 合計    | 210名 |

常時、会員を募集しています。  
入会連絡は、上記アドレスまで!  
新年度のNPO「ゆう」支援活動の  
お知らせ
- ・12月 6日(土)・ 7日(日)  
1月・2月は、お休みします。

**支援物資は常時販売中です。**

**下記アドレスに連絡を!**

又販物具担コ・ム小まじこして

「おさしみわかめ」

「さしみこんぶ」

「くきわかめ」

「すき昆布」

「とろろこんぶ」

常時在庫あり、宅配相談下さい

[danphiro@zpost.plala.or.jp](mailto:danphiro@zpost.plala.or.jp)

090-8316-2020



**県 連 活 動 予 定 表**

| 12月  | 行事予定    | 1月   | 行事予定          |
|------|---------|------|---------------|
| 1 月  |         | 1 木  |               |
| 2 火  | 役員会     | 2 金  |               |
| 3 水  |         | 3 土  |               |
| 4 木  |         | 4 日  |               |
| 5 金  |         | 5 月  |               |
| 6 土  | NPO支援活動 | 6 火  | 役員会           |
| 7 日  | 〃       | 7 水  |               |
| 8 月  |         | 8 木  |               |
| 9 火  |         | 9 金  |               |
| 10 水 |         | 10 土 |               |
| 11 木 |         | 11 日 |               |
| 12 金 |         | 12 月 |               |
| 13 土 |         | 13 火 | ハイキング委員会      |
| 14 日 |         | 14 水 |               |
| 15 月 |         | 15 木 | 理事会           |
| 16 火 |         | 16 金 |               |
| 17 水 |         | 17 土 |               |
| 18 木 | 理事会     | 18 日 |               |
| 19 金 |         | 19 月 |               |
| 20 土 |         | 20 火 | 教育遭難委員会       |
| 21 日 |         | 21 水 |               |
| 22 月 |         | 22 木 | 創立50周年事業実行委員会 |
| 23 火 |         | 23 金 |               |
| 24 水 |         | 24 土 | 房総ロングハイク      |
| 25 木 |         | 25 日 | 〃             |
| 26 金 |         | 26 月 |               |
| 27 土 |         | 27 火 |               |
| 28 日 |         | 28 水 |               |
| 29 月 |         | 29 木 | 組織委員会         |
| 30 火 |         | 30 金 |               |
| 31 水 |         | 31 土 |               |

発行者：千葉県勤労者山岳連盟

〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18

レジデンス幕張台 101号室

TEL・FAX 043-306-1190（事務所に常駐者はいません）

発行責任者：吉田 哲治

編集責任者：広木 国昭

問い合わせ先：千葉県勤労者山岳連盟ホームページ 事務局への問い合わせ